第37回 全国少年少女草サッカー大会

静岡で11日開幕

男子出場128チーム

【北海道】サッポロボーイズ
【栃木】カテット白沢
【千葉】柏マイティー、柏マイティーU12、稲荷木、柏エフォート、柏エフォートU12、藤崎レッド、藤崎ホワイト、まつひだいアズール、まつひだいブランコ、行田東、宮野木、高洲ホッパーズグリーン、高洲ホッパーズホワイト
【東京】サンデー、レガウ、芹ケ谷東京、キントバリオ、バディA、バディB、バディ江東A、バディ江東B、北山小、コレーガ、富士見スポーツクラブ、シルクロードN、シルクロードW、T.T.K.、アンビシオン、JACPA東京U12、JACPA東京U11、高島平
【神奈川】リバーグリーン、リバーホワイト、新林、鶴嶺、百合丘子ども、パーシモンA、パーシモンB、座間、いぶき野ヘリオス、菅、川崎富士見台、はるひ野BSC、山王ジュニア、相模原相東ユナイテッド、浜須賀、NPO川崎ウィングスW、NPO川崎ウィングスR、黒滝WHITE、黒滝GREEN、P.S.T.C. LONDRINA、P.S.T.C. LONDRINA DOIS、GEO-X、久里浜、船越、中野島、中野島Jr、バディー中和田、バディー
【石川】Blue Lagoon U12
【岐阜】飛騨古川JFC、大和ジュニア
【愛知】知多クレスク南粕谷、瀬戸NFC、豊橋リトルJセレソン、Nagoya A、Nagoya B、大府、犬山A、犬山B、CHUKYO・A、CHUKYO・B、一色・西尾、東海A、東海B、トキワA、トキワB、Gラッシュ豊橋
【大阪】高槻南1st、高槻南2nd、Tom、Tomごんた、アオヤマ
【兵庫】東舞子
【山口】光井少年
【鹿児島】龍郷
【中国】北京長白虎少年
【台湾】新竹県twfc、台北TCLS、高雄PWFC、CPDA、P.L.C. FA、新竹市三石足球訓練中心、台北大安Faith　聯隊
【静岡】エクセルシオール、STELLA焼津、広見、丘、ドリーム、時之栖U12、T&T、静岡城内、伝馬、LESTE、静岡中田、東源台、岡小、清水SS、飯田ファイターズ、不二見、清水北、浜田、駒越小、三保、江尻、TOKAIスポーツアカデミー、清水プエルト、SALFUS oRs、GAREINO清水、高部、入江、有度、庵原、清水エスパルスU12清水、RISE

女子出場24チーム

【埼玉】狭山女子、陣屋アイリス、川越女子ジュニア、戸塚ガールズU12
【東京】青梅新町ショコラ、バディ、南大沢少女、TOKYO NADESHIKO
【神奈川】横浜ウインズ、AC等々力マーメイド、厚木ガールズ
【福井】福井丸岡RUCK U12
【長野】松本ウィング
【愛知】名古屋、瀬戸NFC、豊田レディースJr、一宮
【沖縄】MIHOSO URASOE DREAM
【台湾】南投県水里国小、新竹県興隆国小
【静岡】Fuji　メジェールジュニア、ドリームサッカーgirl's、クワトロガールズ、Sorriso Shimizu

※出場チームは6日現在。男子はもう1チーム出場予定。チーム名のフットボールクラブ、サッカークラブ、サッカースクール、サッカースポーツ少年団、少年団などは省略しました。

2019年大会の男子を制したバディA（東京）

2019年大会の女子で優勝したバディ（東京）

ゴールめざして みんな一緒に

小学生年代のチームが集う「第37回全国少年少女草サッカー大会」が11日、静岡市で開幕する。直近の3年間は新型コロナウイルスの影響で中止され、4年ぶりの開催となり、男子128チーム、女子24チームが持てる力をぶつけ合う。1987年の大会発足当初から運営に関わり、昨年、女性で初めて日本サッカー殿堂入りを果たした綾部美知枝さん(74)に、大会の意義や思い出を語ってもらった。

大会発足時から関わる指導者 綾部美知枝さん

あやべ・みちえ　1948年生まれ、静岡県清水市（現静岡市）出身。小学校教諭だった頃にサッカー指導を始める。小学生年代の強豪・清水FCの監督としてFW長谷川健太（現J1名古屋監督）ら数々の好選手を育て、女子サッカーの普及にも尽力した。日本サッカー協会特任理事などを経て、現在はJFAアカデミー福島女子スクールマスター。昨年、日本サッカー殿堂入り。

この大会には第1回から様々な形で携わってきました。元々、（小学生年代の強豪）清水FCと試合をしたいという要望が全国のチームからありました。それなら夏休みに大会を開き、サッカーのまち・清水に人を集めることができないかと行政や財界関係者、サッカー協会が計画しました。

「サッカーが大好きな子、みんな集まれ」が合言葉の一つ。多くの大会は、予選を突破しなければ全国大会には出られません。この大会は、どのチームも出られる。全国の様々なチームと試合ができる場なのです。

勝っても負けても、全てのチームが最終日まで残らなければ順位が決まりません。そうすることで、毎年、自分たちに合った大会の目標を設定できます。

男女とも、多くの日本代表選手がこの大会を経験しています。

特に記憶に残っているのは（1997年第11回大会で優勝した林間SCレモンズの）川澄奈穂美選手です。優れた個人技と柔らかいボールタッチが印象的でした。チームが優勝したので、ご褒美として読売ベレーザ（現・日テレ東京ヴ）の選手と記念撮影する機会を設けました。ベレーザには澤穂希さんがいて、川澄選手は澤さんに抱っこされて、写真を撮ってもらっていました。その後、2人はなでしこジャパン（日本女子代表）のチームメートになり、2011年ワールドカップ優勝を果たしました。草サッカー関係者にとって、うれしいことでした。

監督やコーチにとっても、他の指導者と交流できる貴重な大会です。

様々な指導者を目にしてきて、思ったことがあります。シュートを外した時に「何をやっているんだ」と叫ぶ指導者、「シュートができた」「ゴールに近づいた」と声をかける指導者。前者のチームでは子どもたちがシュートを打たなくなってしまいます。後者のチームは子どもたちが安心してまたシュートを打つことができます。

厳しい声をかける指導者に話を聞いてみたこともあります。その方はものすごく熱心なのですが、試合中に熱くなるあまり、子どもに勝たせたいというよりも、自分が勝ちたいという思いが出てしまうようでした。熱い思いを持つことが悪いわけではありません。「子どもたちが伸びるような声かけも大事ですね」と伝えました。

監督やコーチも、それぞれに悩みを抱えています。これからは指導者同士の交流の機会も増やしていければと思っています。

また、大会を長く続けていくため、大会の環境を整えなければなりません。その一つに暑熱対策があります。今年は男女の大会日程を完全に分けて、午前中の試合を多くして、できるだけ早い時間に試合が終わるようにします。「ナイター開催も一つの手ではないか」という意見もあります。今後も話し合っていくべきテーマです。

私は清水で生まれ育ってきたので、コロナ禍で大会ができなかった3年間、全国から子どもたちが来ない寂しさを感じていました。今年は草サッカー大会が開催できる喜びをかみしめながら、子どもたちの元気なプレーを見たいと思います。

（構成・岩佐友）

記憶に残る 後のなでしこ ■ 監督・コーチも交流 学びの場

■大会日程

	男子	女子
11日（金）		リーグ戦
12日（土）		順位別T
13日（日）		順位別T、決勝
17日（木）	ミニカップ1次L	
18日（金）	ミニカップ2次L	
19日（土）	順位別3次L	
20日（日）	順位決定戦、決勝	

（Lはリーグ戦、Tはトーナメント）

■試合形式

GKを含めて8人対8人で対戦する「8人制」のルール。ピッチの広さは原則、縦68㍍、横50㍍。試合時間は前後半15分ずつ（男女とも最終日は前後半20分ずつ）で、選手交代は人数、回数ともに制限がない。

男子は4チームずつ1次から3次の予選リーグ戦を行った後、順位決定戦を行う。女子は3チームずつのリーグ戦を行った後に順位別トーナメントを行う。

■HPに結果を掲載

全試合の結果は公式サイト（http://www.kusa1987.jp/）に掲載します。

主催　日本サッカー協会、静岡県サッカー協会、朝日新聞社、静岡市ほか
協賛　第一三共ヘルスケア
後援　スポーツ庁、Jリーグ、WEリーグ、静岡朝日テレビ、朝日学生新聞社、日刊スポーツ新聞社ほか
協力　アディダスほか

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。